



Kumasan

令和元年5月23日

学校だより 6月号

熊野第三小学校

校長 平岡 弘資

HP <http://kumaO316.ec-net.jp>

☆ 自らをふり返ってみる機会になれば！

平成から令和に。この前の10連休、一つの時代の節目となりました。連休明け、私たち大人はなんとなくだるさを感じながら出勤しましたが、朝の全校朝会では子供たちは元気。やはり若さでしょう。5月に入りだんだんと気温も上がっていますが、休憩時間の運動場を見ると汗いっぱいかいて遊んでいる子供たちを見ると、こちらも元気をもらいます。

さて、これまでもお伝えしていますが本年度も道徳教育の指定事業を受け、道徳科の授業を中心に「思いやりの実現」に向けて取り組んでいます。先日は2年2組の道徳科の授業研究がありました。「くまくんのたからもの」という教材をもとに「しんせつ」とは何かについて、子供たちがしっかりと考えました。簡単にお話を紹介します。



くまくんは、あたらしかばんをもってお出かけ、面白いはっぱやびかびかのどんぐりなど宝物を見つけてかばんはいっぱいになりました。そのとき誰かの泣き声が。穴に落っこちた小さいねずみの子です。「待って。僕がいくからね。」「もう大丈夫だよ。」くまくんはねずみの子をかかえてつるを登り始めました。ところが・・・片方の手だけではうまくのぼれません。「そうだ。かばんにねずみくんが入れば両手のぼれるぞ。」でもかばんには宝物がいっぱい。「ええい。」くまくんは思い切っただかばんをさかさまに。宝物は次々転がり落ちます。かばんにねずみくんを入れて両手でゆっくりとのぼりはじめました。やっと穴から出ることができました。「お兄ちゃん、ありがとう。はい、これ1こだけになっちゃったけど。」ねずみの子の手にはぽかぽかのどんぐりが。くまくんはそのどんぐりをかばんにしまって、心の中で言いました。「一つでも、これは特別な宝物なんだ。」



2年生の子供たちは、このお話を嬉しそうな、優しそうな顔で聞いていました。「ええい。」と宝物を捨てた時のくまくんの気持ちを聞かれると、「宝物よりねずみくんが大切だ。」「ねずみくんがかわいそう。命を助けてい。」くまくんの優しい気持ちにしっかりと共感していました。ぽかぽかのどんぐりをもらったくまくんの気持ちを聞かれると、「これは一つだけ大切な宝物だよ。どんぐりが一つでも十分に嬉しいよ。」「これからも遊ぼうね。」「このどんぐりは、ねずみくんが拾ってくれたものだから特別などんぐりなんだ。」子供たちは、どんぐりは一つになったけど特別な宝物と感じたくまくんの温かい優しさをしっかりと感じ取っていました。

道徳科の授業では、こうあるべきだという価値観を押しつけるのではなく、様々な視点から子供たちの心をゆさぶり、人としての価値を深めていこうとしています。分かりきった答えを求めるのではなく、価値観の葛藤場面や違う考えに触れることで、より深く考えるような授業に取り組んでいます。ぜひご家庭でも子供たちと道徳科の授業のことについて話をさせていただきたいと思います。大人の価値観に触れることも子供たちにとっては大切なことです。来週5月28日(火)参観日には全校で道徳科の授業を見ていただきます。その後の懇談会でも授業についてご意見をいただきたいと思います。自らをふり返る機会にもなると思います。たくさんのご参加お待ちしております。

☆交通安全に気を付けよう



5月10日に1年生が交通安全教室を行いました。西濃運輸さんのご協力を得て、横断歩道のわたり方やトラックの運転席に座って、運転席からどのように見えているかの確認などをしました。安全推進インストラクターさんのお話をしっかりと聞いて交通安全について学ぶことができました。

3年生の自転車教室は天候不良により中止になりましたが、正しい自転車の乗り方や、交通ルールなど学校で指導していきたいと思えます。ご家庭でもヘルメットの着用等、ご協力よろしくお願ひします。



☆すこやか朝会がありました



5月14日のすこやか朝会は、みんなで短縄に挑戦しました。運動委員会がお手本となり、“アルプス一万尺”の曲に合わせてリズムよく跳びました。昨年度は、寒い冬の体力づくりの一環として取り組んだ“なわとび”でしたが、今年度は、自分自身の体力アップの方法として、年間を通して頑張ります。これから子供たちの体力がどれだけ伸びるか楽しみです。

この日は、地域のグリーンボラン

ティアの方々の中庭の花壇の整備に来てくださっていました。すこやか朝会の後、ボランティアの皆さんが作業してくださっている傍を子供たちは通って教室へ帰ります。さて、子供たちはどのようにして教室へ帰るのでしょうか。

「おはようございます。」「ありがとうございます。」普段は無言移動の子供たちですが、この日は、感謝の気持ちを込



めてあいさつをしながら教室へ帰りました。これも本校が目指している「思いやりの実現」の一つだろうと思います。思いは見えないけど思いやりは見える。子供たちなりの表現で思いを形にしていけたらいいなと思います。

グリーンボランティアさんのおかげで学校の花壇はすっかりきれいになりました。春から夏に向けての花を植えてくださったので、ここからは学校で大切に育てていきます。グリーンボランティア皆さんありがとうございました。